

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	令和3年 11月 20日
団 体 名	公益社団法人佐久青年会議所		
事 業 名	カラマツフェス ～NO KARAMATSU NO LIFE～		
対象経費	1,004,976 円	支援金交付 対 象 経 費	195,976 円
支援金額	97,000 円		

事業の目的・内容	目的 本事業を通して、地域住民の皆さまが地域の財産であるカラマツを身近な文化として捉え、活用性を知ることによって生活に取り入れていただくきっかけとします。また、一人ひとりが地域を守るための循環利用のサイクルの一部であることを自覚する一助とします。
	内容 地域を代表する樹種であるカラマツを題材とし、「カラマツフェス ～NO KARAMATSU NO LIFE～」を開催しました。当日は各種ブースで様々な出展を行い来場された方々がカラマツに触れ、その魅力や森林の循環利用について知り、生活に取り入れるきっかけとしていただきました。

	<日 時> 2021年10月24日(日) 9:00～17:00 <場 所> 駒場公園多目的ひろば 〒385-0011 佐久市猿久保55 <来場者数> 2173人(目標来場者数:1000人) <参加費> 無料 <協 力> 長野県佐久地域振興局林務課、(株)吉本、桐原建設、田村木材(株)、(株)青木屋、ねこマルシェ、ホシノマチ団地、ブース出展者、キッチンカー出店者、(株)アクロス、アルファランパー(株)、東信木材青壮年団体連合会、(株)すまい一、佐久平総合技術高等学校、寺子屋高等学院(学生ボランティア)、佐久市市民活動サポートセンター(学生ボランティア)、(株)星野組、(有)カネホ木材、合同会社Y. Mサービス、伊坂建設(株) <後 援> 佐久市教育委員会、佐久穂町教育委員会、小海町教育委員会、北相木村教育委員会、南相木村教育委員会、南牧村教育委員会、川上村教育委員会、立科町教育委員会、長野県教育委員会、川上村産業建設課、南牧村産業建設課、北相木村経済建設課、南相木村振興課、小海町産業建設課、佐久穂町産業振興課、佐久市耕地林務課、立科町産業振興課 <広 報> 8月10日～ SNSにて開催告知開始 9月21日 信濃毎日新聞記事掲載 9月24日～ 学校へのポスター・チラシ配布 参加企業、団体へポスター・チラシ配布 9月29日 読売新聞記事掲載 10月7日 佐久市民新聞記事掲載 10月16日 Web版信濃毎日新聞記事掲載 駒場公園多目的広場道路側フェンスに横断幕掲示 10月19日 FM佐久平での告知
--	--

<出展内容>

【くらしブース】

○ミニハウス展示

佐久地域のカラマツを使って作られた、カラマツミニハウスの展示を行います。実際に中に入り、居住空間に使われるカラマツのあたたかな色合いや雰囲気を感じていただきました。

○お皿、ペン立て製作体験

何気ない日常の中で使うものを地域産カラマツで製作することにより、普段目を向けることのなかったカラマツを身近に感じていただくことができました。佐久平技術校の木工部様にお皿製作、ペン立て製作とカッティングボード製作をマイホームサービス様に出展していただきました。製作したカッティングボードは当日の飲食ブースで活用していただきました。お皿製作：40セット終了、ペン立て：50セット終了、カッティングボード：50セット終了

○カラマツ家具販売

カラマツ家具の展示販売を行いました。机や椅子は使用体験を行い休憩できるスペースとして開放していただき、ミニハウスと同様にカラマツのあたたかな色合いや雰囲気を感じていただきました。

○キッズスペース

製材する際に出る端材を利用し製作したカラマツの積木で遊べるフリースペースを設置しました。事業の対象をファミリー層にしたことから、利用する子どもが絶えず大好評となりました。現代の遊びではなかなか養うことのできない独創性や創造性を養うことができることを感じていただきました。積み木は田村木材株式会社様が製作提供していただきました。

○フローリング休憩所

カラマツで製作した休憩所を会場内各所に設置し、来場者に自由に座っていただきました。カラマツの床材を使用し、住宅の一部としても取り入れることができることを実際に触れて感じていただきました。フローリング休憩所は、桐原建設様より製作提供していただきました。

○椅子作り体験

来場した親子を対象としてカラマツ材を使った椅子作りを行いました。カラマツの椅子が親子の思い出となり共通の話題となるよう企画しました。椅子作り体験をとおして、親子の繋がりやのコミュニケーションを創出しました。

椅子作り：70セット終了

【ワークショップブース】

○フォトフレーム製作

カラマツ材を利用したフォトフレームを親子で作れるワークショップスペースを行いました。フォトフレームを「おもいでフレーム」と名付け当日家族で過ごした写真を飾れるようにし、本事業のことを継続的に思い起こしていただけるようにしました。また、別のワークショップ店舗複数店でカスタム装飾をできるようにし、自分で作ったお気に入りの一点として大切に使用していただけるようにしました。材料は、株式会社青木屋様、アルファランバー株式会社様より提供していただきました。

○焚き火体験

再生可能エネルギーについて理解を深めていただくために、スウェーデントーチと焚き火台の実演を行いました。レジャーでの活用や普段の生活にも十分取り入れることが可能であることを紹介しました。

○丸太切り体験・家造り体験

木に関わる職業の体験として、林業を体験できる丸太切り体験、建築（大工）の仕事を体験できる家造り体験を行いました。丸太切り体験では直径15cm程度の丸太の輪切りを体験していただき、家づくり体験では建築工事の工程の一つである『建前』を体験していただきました。対象を小学生として、それぞれ専門家のもと高校生ボランティアが体験をサポートしてくれました。担い手の減少している職種に、若い世代が興味を持つきっかけを作りました。

【イベント学習ブース】

○森の研究所～目指せ！カラマツ博士～

子どもたちには研究員としてカラマツ博士に扮した有識者の元、カラマツや森林保全について15分ほどの講義を受けていただきました。修了後はカラマツ博士の称号を得ることができるストーリーとし、楽しみながら地域について学ぶ機会を作りました。カラマツ博士は佐久地域振興局林務課普及係様、株式会社吉本様に務めていただきました。

○親子でカラマツクイズラリー

防風林として木が多く植えられている開催会場付近を利用し、親子で挑戦できるクイズラリーを行いました。事前に森の研究所で学習するとクイズに正解しやすくなるようにしており、研究所で子どもたちが学んだことを、クイズラリーでは保護者の方に問題を解きつつ説明するというアウトプットの機会とし、地域について学んだ知識の定着を狙いました。

【キッチンカー飲食ブース】

来場者の皆様にゆっくり楽しんでいただけるようキッチンカー飲食ブースを企画しました。製作したお皿を使用していただきゼロカーボンへの取り組みも行いました。

【佐久青年会議所ブース】

○エコクラフト

リサイクルについて学ぶことのできる企画を行いました。本来廃棄されるダンボールを再利用し、財布を作るワークショップと、生ごみを堆肥にする実演をとおして資源の重要性を伝えました。

○イベント本部

イベント本部では未就学児のお子さんがいるご家庭を対象として、佐久青年会議所が製作した、循環利用を学ぶことができる絵本の配布を行いました。

<新型コロナウイルス感染症に係わる感染防止対策>

①密閉空間での開催を避け屋外での開催としました。

②受付にて検温を実施し、万が一に備え受付記録を作成しました。また会場内での対策として受付や各ブースに手指消毒用の置き型ボトルを設置し来場者への消毒の呼びかけを行いました。机や椅子等、不特定多数の方が触れる箇所にはスプレー式の消毒ボトルでの消毒を実施しました。

③来場者へは飲食時を除きマスクの着用をしていただきました。

④各出展場所で人数制限を行い、混雑時の密を避けました。

⑤チラシに新型コロナウイルス感染症対策を記載し、上に記した②～④について事前周知を行いました。また体調の優れない方には来場を控えていただく旨の記載も行いました。



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果

・佐久地域内で林業や木に関わる仕事をされている佐久地域振興局林務課普及係様、(株)吉本様、田村木材(株)様、桐原建設様、(株)青木屋様、日本木材青壮年団体連合会様、様々なネットワークを持ち地域づくり活動をされているホシノマチ団地様、ねこマルシェ様と連携を図り事業を実施し、林業業界をはじめとして佐久地域を持続的に発展させるための意識向上を図ることができました。

・会場内でマーク式のアンケートを行い、来場者の皆様に「カラムツフェスに参加して、地域産材またはカラムツを使用した製品を生活に取り入れたいですか」という質問に答えていただきました。結果、来場者数2173名中1781名（82%）が「取り入れたい」と回答しました。目標である90%を上回ることはできませんでしたが今後の取組次第で十分に目標達成が可能であることが分かりました。

・参加した地域住民の皆さまが実際にカラムツに触れ、循環利用について知ることで、地域産材を使うことが地域の森林を守っていくことに繋がるという意識を広めることができました。

・製作系のワークショップに関しては用意した全て（フォトフレーム100セット、椅子70セット、木のお皿40セット、ペン立て50セット、カッティングボード50セット）を実際に持ち帰っていただくことができ来場者の皆様の生活の中にカラムツを取入れていただくことができました。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 <u>概ねできた</u> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 計画していた企画の変更は多少あったものの、同内容の企画を実施し、事業の開催意図が来場者に伝わりました。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 <u>概ねできた</u> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 来場者に実際にカラマツに触れ、認知していただくことができました。また、マーク式アンケートでも高い数字を得られ、効果を実感しました。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 <u>ほとんど同じ</u> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ）
	その他、評価すべき点等	来場者人数が目標値を大幅に上回りました。（目標値の217.3%）そのほとんどがターゲットとしていた世代のファミリー層であり、今後生活にカラマツを取入れていただくきっかけとなりました。また、地域の方々との連携を半年以上前からとり、事業に参画していただいたことで、自身が住む佐久地域への責任感を持っていただくことができ、今後の事業の継続、発展へと繋がると感じております。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	協力していただいた企業・団体の皆様に行った事業後のアンケートでは、参加できてよかった、という声や、第2回を望む声も多くいただきました。今回の事業に参画していただいたコアメンバーの方々とは、今後も定期的に実行委員会（ブース担当者会議）を開催し、カラマツフェスで得られた効果を継続的なものとするために活動していきます。
---------	---



フォトフレーム製作



フォトフレーム製作

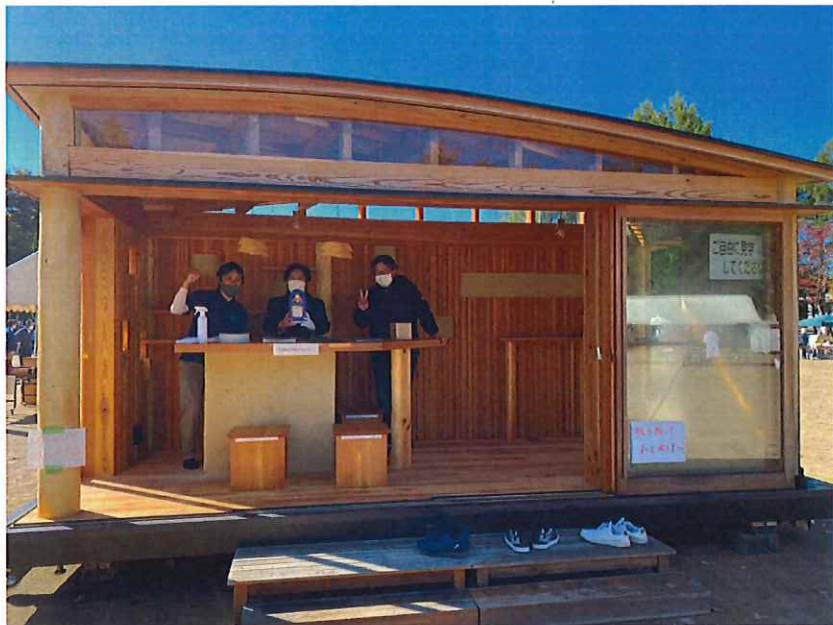


フォトフレーム製作



カラマツハウス

設置状況



カラマツハウス

設置後



カラマツハウス

設置後



椅子作り体験



椅子作り体験



椅子作り体験



家造り体験

高校生ボランティア



家造り体験



家造り体験



カッティングボード製作



木のお皿製作



ペン立て製作



学習ブース

森の研究所



学習ブース

森の研究所



学習ブース

森の研究所



キッズスペース



キッズスペース



キッズスペース



カラマツフローリング休憩所



カラマツフローリング休憩所



カラマツフローリング休憩所



カラマツ製品展示販売



カラマツ製品展示販売



カラマツ製品展示販売



丸太切り体験



焚き火体験



焚き火体験



エコクラフト

ダンボール財布製作

高校生ボランティア



エコクラフト

ダンボール財布製作



エコクラフト

ダンボール財布製作



フオトスポット



フオトスポット



フオトスポット



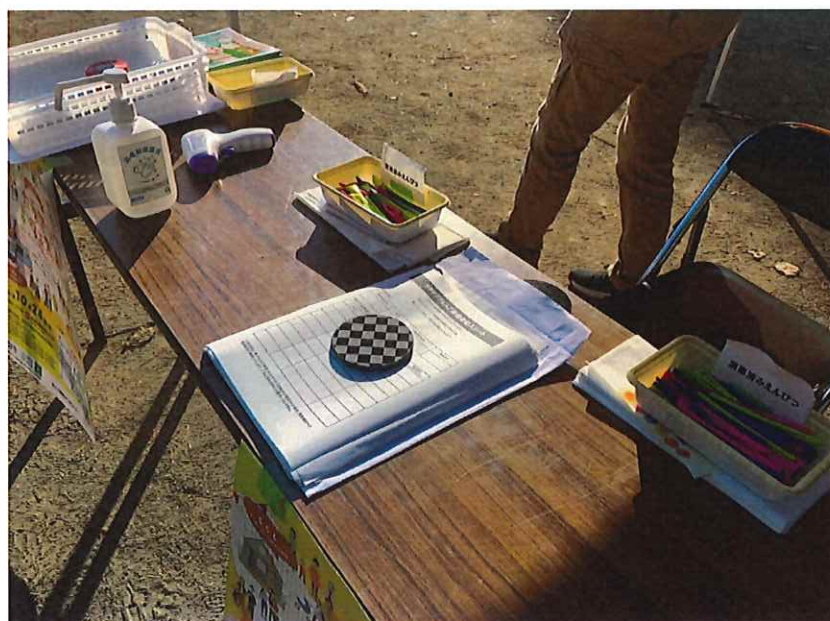
トイレ手洗い

北側トイレ設置状況



横断幕

横断幕設置状況



受付コロナ対応

来場者記入シート

鉛筆への消毒

手指消毒

検温



仮設トイレ・手洗い(北)

4台

設置状況



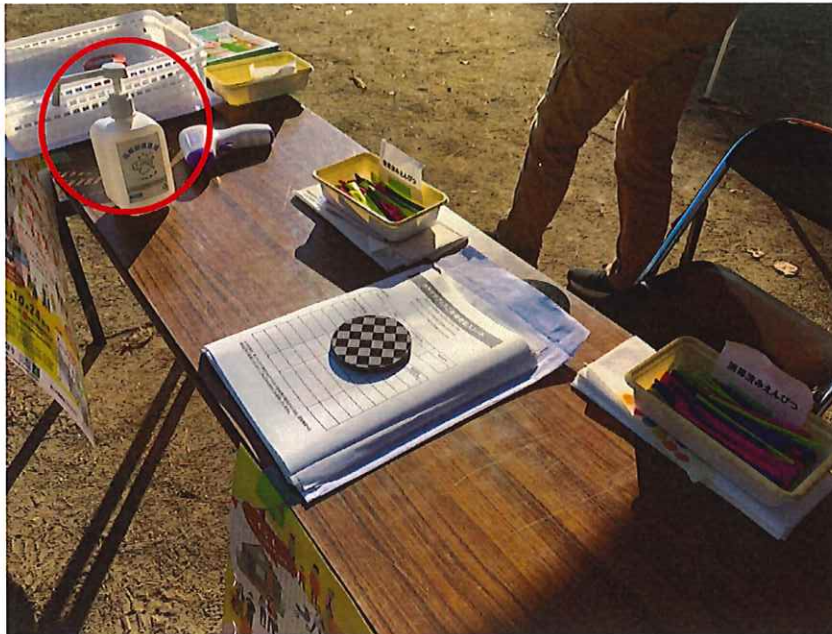
仮設トイレ・手洗い(南)

4台

設置状況



ブース看板設置状況



消毒液設置



消毒液設置



横断幕設置状況

ゴミコンテナ設置状況



協力団体・企業の皆様



当日の様子



当日の様子



当日の様子



当日の様子



当日の様子